

平成29年度 主な事務事業調

No. 115

事業名	舞鶴観光ブランドプロモーション戦略事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	32,571 千円			予算書	184 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <b>継続</b>	

事業の目的	旧海軍鎮守府設置からの日本近代化への躍動を体感する歴史が日本遺産に認定されたことを契機として、マーケティングマネジメントに基づき、赤れんがや自衛隊の特徴あるイメージを踏まえた「歴史」と「食」の連携による広域集客及び観光消費の拡大に努め、外国人観光客も含めた交流人口の増大、観光産業による地域経済の活性化を目指す。			
	事業の内容	○戦略的誘客プロモーション ・教育旅行の誘致【拡充】 引揚の史実に基づく平和学習を中心とする誘致プロモーション ・パブリシティプロモーション メディア記事掲載を目的にシティセールスを実施 ○インバウンド(外国人観光客誘致)の推進 ○「歴史」と「食」の連携による全国唯一となる食文化の魅力発信 ○フィルムコミッション事業の推進 ・ロケ地を活用したツーリズムの推進による観光誘客事業 ○PRイベント出展(首都圏、京阪神圏ほか) ○「食」ブランド力向上事業(農林課・水産課・観光商業課連携) ・首都圏でのプレミアムランチフェアの開催 ・「(仮)地場産食材使用飲食店推奨制度」の創設【新規】 ・「舞鶴のさかな提供店」啓発事業、美食探訪ツアーの造成等		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	1,212	地方創生推進交付金(1/2)	60
	府支出金	11,200	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	20,159		
担当課	観光商業課 農林課 水産課	課長名	櫻井晃人 吉田章洋 中西 滋	内線 番号 1260 1240 1210

# 平成29年度 主な事務事業調

No. 116

事業名	着地型観光推進事業				
費目	款	商工費	項	商工費	目 観光振興費
事業費	27,607 千円			予 算 書	184 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>赤れんがパークの観光戦略拠点化をより一層進め、海の京都DMOと連携した「着地型観光」への取り組み、おもてなし体制の充実を図る。</p> <p>他市にないオンリーワンの魅力づくりが必要不可欠であり、日本遺産の構成文化財でもある赤れんが倉庫群をはじめとする舞鶴固有の「海軍ゆかり」の資源を強く全国発信するとともに、引き揚げを体感する遊覧船の運航等により、ブランドの確立及び観光誘客・リピーターの増加を図る。</p>					
	事業の内容	<p>○着地型観光の推進及び体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着地型観光商品の造成、情報発信(海の京都DMOと連携)</li> <li>・交流型ツーリズムの造成 日本遺産登録を契機に歴史遺産等をテーマとした地域間交流を促進するツーリズムを造成</li> <li>・観光案内所の運営 まいづる観光ステーション、東駅観光案内所</li> </ul> <p>○海を活かした遊覧船事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海軍ゆかりの港めぐり遊覧船の運航</li> <li>・引き揚げを体感する遊覧船の運航</li> </ul> <p>○自衛隊と連携した地域資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東郷邸をはじめ、自衛隊施設の一般公開等</li> </ul> <p>○まいづる観光講座の開催ほか</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	860	地方創生推進交付金(1/2)	60		
	府支出金	5,600	みらい戦略一括交付金(1/2)	74		
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	21,147				
担当課	観光商業	課	課長名	櫻井晃人	内線番号	1260

# 平成29年度 主な事務事業調

No. 117

事業名	京都舞鶴港クルーズ推進事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	21,809 千円			予算書	184 頁	
				事業区分	新規 <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的

2017年の京都舞鶴港へのクルーズ客船入港回数は約40回と過去最高を更新する見込みである。  
 今後も、船社からも乗客からも“選ばれる港”となるためには、更なる「積極的なクルーズ船誘致」と「乗客の誘客」活動が不可欠であり、戦略的なプロモーション活動を展開する。  
 あわせて、京都舞鶴港を訪れる乗客に対し、まち全体での歓迎体制によるおもてなしを展開することで、舞鶴の良さや満足度を高め、リピーター及び新規乗客の獲得を目指す。

- 事業の内容
- (1) クルーズ客船誘致活動
    - ・船社・代理店への訪問、他港との連携
    - ・クルーズ協議会、セミナー等参加
  - (2) 乗客の誘客活動
    - ・京都舞鶴港クルーズWEBページの整備
    - ・「舞鶴ドライブ&クルーズ」PR事業等
  - (3) クルーズ船寄港に伴うおもてなし事業
    - ・観光案内の実施（まち歩きマップ等の作成）
    - ・おもてなしイベントの実施
      - 入・出港パフォーマンス、日本文化の体験、
      - まち歩きツアーの実施等
    - ・シャトルバスの運行

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	9,300	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	12,509		

担当課	観光商業課 みなと振興・国際交流課	課長名	櫻井晃人 小森 実	内線 番号	1260 1250
-----	----------------------	-----	--------------	----------	--------------

平成29年度 主な事務事業調

No.118

事業名	海の京都観光推進事業・海の京都DMO負担金				
費目	款	商工費	項	商工費	目 観光振興費
事業費	22,903 千円			予 算 書	184 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>府北部5市2町をエリアとする「海の京都観光圏」において、海の京都DMOとともにブランド観光地域を目指す。海の京都DMOにおいては、マーケティング調査、広域プロモーション、着地型旅行商品の造成販売、人材育成、特産品開発等の取組みを進める。</p> <p>本市においてはマーケティング調査を踏まえ、「歴史」と「食」が連携する市内周遊型イベント等を実施することにより積極的な誘客事業を展開する。</p>					
	事業の内容	<p>○海の京都DMOと連携したツーリズム及びイベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史」と「食」を連動させたツーリズムの実施</li> <li>「歴史・食文化」を体感するメニューの提供やまち歩きの実施</li> <li>・市内観光施設連携周遊策の実施（スタンプラリーの実施等）</li> </ul> <p>○スポーツトレイル事業推進協議会負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「由良川大江山SEA TO SUMMIT」の開催</li> </ul> <p>○海の京都DMO負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海の京都DMOの取組み事業</li> <li>マーケティング調査、プロモーション・インバウンド事業</li> <li>着地型旅行商品の造成販売、ガイド育成、</li> <li>特産品開発・ブランド化事業ほか</li> </ul>				
財源内訳		区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 ( 補 助 率 等 )	予算書	
	国 支 出 金	7,784	地方創生推進交付金 (1/2)	60		
	府 支 出 金	1,100	みらい戦略一括交付金 (1/2)	74		
	地 方 債	-				
	そ の 他	-				
	一 般 財 源	14,019				
担当課	観光商業	課	課長名	櫻井晃人	内線 番号	1260

平成29年度 主な事務事業調

No.119

事業名	周遊観光バス運行事業費補助				
費目	款	商工費	項	商工費	目 観光振興費
事業費	13,132 千円			予 算 書	184 頁
				事業区分	新規・拡大・ <b>継続</b>

事業の目的	<p>公共交通の利用促進、点在する観光施設のネットワーク強化及び観光地としての知名度の向上を目的として、海の京都DMO舞鶴地域本部が実施する周遊バス運行事業に対し支援を行う。</p> <p>また、海軍ゆかりの誘客事業、着地型観光と連動した市内2次アクセスの充実を図り、広域の観光客誘致に繋げるもの。</p>
	<p>来訪者のニーズを踏まえ、東・西舞鶴駅を起点に赤れんがパークと引揚記念館等を結ぶ東ループ、五老スカイタワーと舞鶴港とれとれセンターを中心に周遊する西ループで運行。</p>

事業の内容	<p>○周遊観光バスの運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間 4月～11月、3月下旬の土・日・祝</li> <li>・内容 点在する観光施設を繋ぐ周遊観光バス 東ループ7便、西ループ7便</li> </ul> <p>○かまぼこ手形の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間 4月～3月の毎日</li> <li>・内容 京都交通路線バス、観光周遊バス1日乗り放題 観光施設入館無料や各施設の特典、遊覧船半額、市営駐車場利用無料</li> </ul> <p>※実施主体：海の京都DMO舞鶴地域本部</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 ( 補 助 率 等 )	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	6,500	みらい戦略一括交付金 (1/2)	74
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
一 般 財 源		6,632		

担当課	観光商業 課	課長名	櫻井晃人	内線 番号	1260
-----	--------	-----	------	----------	------

平成29年度 主な事務事業調

No.120

事業名	まいづる元気産業創出事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	11,655 千円			予 算 書	184 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>まちの将来を担う元気な産業の創出を目的として、市内中小企業の販路開拓に対する支援や、新規雇用を伴う設備投資への支援、雇用マッチング等を行うことにより、既存中小企業の生産性の向上や経営体質の改善を図り、内発型産業振興による経済規模の拡大と雇用の創出を目指す。</p>
事業の内容	<p>① 内発型産業振興支援事業（10,388千円）                  新製品開発はもとより、既存事業の拡大に取り組むなど、頑張る市内企業を引き続き応援し、働く場の創出につなげる。                  また、若年者の市内企業への就職を促進するため、地元集客型イベントにおいて、小中学生を含む子どもやその親世代に対し、舞鶴市内での「働く場」としての企業紹介等を行う。</p> <p>② 「まいづる元気産業情報センター」の運営（1,267千円）                  市内企業のビジネスマッチング強化や求職者向け市内企業情報の充実を図るとともに、企業誘致につなげるための情報（用地、補助制度、雇用環境など）の発信を強化する。</p>

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	5,100	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	6,555		

担当課	企業立地・雇用促進 課	課長名	有吉 央頭	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

平成29年度 主な事務事業調

No.121

事業名	企業誘致実現プロジェクト事業				
費目	款	商工費	項	商工費	目 商工振興費
事業費	42,812 千円			予 算 書	184 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	<p>本市の地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、平成29年度から働く場の創出企業立地促進補助金の対象区域を拡大し、新規誘致とともに、既存の市内立地企業や中小企業の新増設など発展的な事業を積極的に支援する。さらに、名古屋市での企業開拓員配置により、中京圏の企業に対する誘致活動やビジネスマッチングを引き続き推進する。</p> <p>また、新たに、市内の企業誘致用地や廃校用地を視察する見学会の実施や京丹後市と連携した企業誘致活動の展開により、地域経済の安定的な成長につながる働く場を創出する。</p>			
	事業の内容	<p>① 企業誘致開拓員配置事業（13,972千円） 企業開拓員の配置による中京圏における企業誘致・ビジネスマッチングの推進</p> <p>② 働く場の創出企業立地促進補助（9,300千円） 働く場の創出補助金・・・継続企業分（予定） 4件</p> <p>③ 企業立地経営円滑化補助（13,800千円） 大口水道使用企業に対する水道料金の一部補助</p> <p>④ まいづる企業用地等見学会実施事業（1,200千円）【新規】 首都圏、関西圏、中京圏の金融機関やゼネコン等を対象に、新規立地を検討している企業に対して、市内の企業誘致用地や廃校用地を紹介する現地見学会の実施</p> <p>⑤ 企業誘致推進対策事業（4,540千円） 京丹後市と連携した企業誘致のためのPR活動の実施【新規】 新たな立地企業誘致のための情報収集、個別企業訪問の推進 等</p>		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	-		
	府支出金	13,800	みらい戦略一括交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	29,012		
担当課	企業立地・雇用促進 課	課長名	有吉 央顕	内線 番号 1212

平成29年度 主な事務事業調

No.122

事業名	新たな地域消費創造事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	11,873 千円			予算書	184 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的  
舞鶴商工会議所や金融機関等と連携し、新規創業の促進、活力ある事業者の育成や個店の魅力創出に積極的に支援を行うことで、新たな地域消費を生み出し、商業によるまちなかの賑わい創出、まちの安定的経済成長を図る。

- 事業の内容
- ①まいづる「逸品」創造促進事業（拡充）  
売れるものづくり等を通じた、アドバイザーの指導助言や事業者連携による支援。個店や商品のPR、地域の魅力発信の実施。
  - ②創業おうえん奨励金  
日本政策公庫、北都信金の開業資金融資を受け創業する者に対し、奨励金を交付（補助率 開業借入資金 1.2%、3.0%）
  - ③がんばる事業者応援事業  
事業者グループ等の取組・活動に対する専門家派遣等
  - ④商店街で新規出店の場合、出店に係る費用を補助  
店舗改修費用、設備・備品購入、広告宣伝費ほか  
(補助率：1/2 600千円限度)
  - ⑤観光産業育成支援事業費補助金  
土産品開発や販路拡大に係る費用、ホームページ、パンフレット等の多言語化に係る費用ほか  
(補助率：1/2 200千円限度)

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	11,873		

担当課	観光商業 課	課長名	櫻井 晃人	内線番号	1260
-----	--------	-----	-------	------	------



平成29年度 主な事務事業調

No.123

事業名	中小企業融資制度保証料補給金 中小企業融資制度貸付金				
費目	款	商工費	項	商工費	目 商工振興費
事業費	721,200 千円			予 算 書	186 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的  
市内中小企業の資金繰りの円滑化を図り、経営の安定化、事業展開等を促進するため、市独自の中小企業融資事業を実施する。また、依然として厳しい経営環境にある市内中小企業の資金繰り負担を軽減し、経営改善等を図るため、融資期間を最長10年とする「中小企業経営改善特別融資（舞十年）」を継続するとともに、環境対策設備資金である「中小企業地球環境対策特別融資（舞グリーン）」を継続実施し、市内中小企業の省エネ対策、環境経営の取り組みを促進する。

事業の内容  
 <主な実施制度概要>  
 (1) 中小企業経営改善特別融資（舞十年）  
 融資期間：10年以内（基本制度：8年以内）  
 融資利率：年1.7%、融資限度額：1,500万円  
 資金使途：運転資金、保証料補給：2分の1  
 制度実施期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日  
 (2) 中小企業地球環境対策特別融資（舞グリーン）  
 融資期間：10年以内  
 融資利率：年1.6%、融資限度額：2,000万円  
 資金使途：環境への負荷低減を図るための設備導入資金  
 保証料補給：2分の1  
 <事業費内訳>  
 (1) 中小企業融資制度貸付金 700,000千円  
 (2) 中小企業融資制度保証料補給金 21,200千円

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	700,000	中小企業融資制度貸付金収入	94
	一般財源	21,200		

担当課	観光商業 課	課長名	櫻井 晃人	内線番号	1260
-----	--------	-----	-------	------	------

平成29年度 主な事務事業調

No.124

事業名	国際交流活動推進事業				
費目	款	商工費	項	商工費	目 貿易振興費
事業費	28,113 千円			予 算 書	186 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	姉妹都市や友好都市等とのネットワークのさらなる充実に努めるとともに、市民が主体となる国際交流事業の推進に取り組む。			
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際交流員の配置</li> <li>2. 各種代表団の派遣・受入</li> <li>3. 舞鶴・大連市友好都市提携35周年記念事業</li> <li>4. ナホトカ市との青少年交流</li> <li>5. ポーツマス市訪問青少年英語研修等</li> <li>6. 浦項市との人的交流</li> <li>7. 多文化共生社会の推進</li> <li>8. 市民の国際交流活動に対する支援</li> <li>9. 国際交流活動年次報告書の発行</li> </ol>			
財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	28,113		
担当課	みなと振興・国際交流課		課長名	小森 実
			内線番号	1250

平成29年度 主な事務事業調

No.125

事業名	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	41,074 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・拡大 <b>継続</b>	

事業の目的	<p>日本海側拠点港の選定を受けたそれぞれの機能（国際フェリー・国際RORO船、国際海上コンテナ、外航クルーズ）について、目標の早期実現に向け、国・府・近隣市や関係団体等と連携し、名実ともに京都舞鶴港が日本海側の拠点港として確立されるよう、利用促進に取り組む。（京都舞鶴港振興会への補助）</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国際フェリー航路の開拓                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 航路開設に係る荷主開拓のための日韓共同プロモーション</li> </ul> </li> <li>◆ 国際クルーズの誘致                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小樽港、伏木富山港、境港、秋田港との連携による「環日本海クルーズ推進協議会」への参画</li> <li>・ 「京都舞鶴港クルーズ誘致推進協議会」によるクルーズ船の誘致</li> <li>・ 旅行社等と連携した新規観光ルートの開発</li> </ul> </li> </ul>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	41,074		

担当課	みなと振興・国際交流課	課長名	小森 実	内線番号	1250
-----	-------------	-----	------	------	------

平成29年度 主な事務事業調

No.126

事業名	京都舞鶴港振興会等補助					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	97,362 千円			予算書	186 頁	
				事業区分	新規・拡大 <b>継続</b>	

事業の目的	日本海側拠点港の選定を受けた京都舞鶴港を関西経済圏における日本海側の物流拠点とするため、総合的な貿易振興策を講じる。						
	京都舞鶴港の一層の貿易振興を図るため、既存航路の活性化、新規航路の開設、集荷対策等を積極的に推進する。						
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集荷要請等のポートセールス</li> <li>・セミナー開催等のPR活動</li> <li>・貿易情報の収集及び調査</li> <li>・東アジア諸国等との友好・経済交流の促進</li> <li>・航路の拡充およびトライアル利用の促進</li> <li>・コンテナ貨物等に対するインセンティブ補助</li> </ul>						
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書			
	国支出金	-					
	府支出金	-					
	地方債	-					
	その他	-					
	一般財源	97,362					
担当課		みなと振興・国際交流課		課長名	小森 実	内線番号	1250